

広報

2020
令和2年



奥出雲

4

No.181



奥出雲病院助産師外来「はぐくみ」開設

今月号の主な内容

令和2年町長施政方針	2
令和2年度当初予算	4
図柄入り出雲ナンバー	6
職員配置	8
令和2年度 脳ドック受診希望者募集のお知らせ	12
6月は男女共同参画週間です！	13

わたしたちの町

人 □ 12,324人／男 5,972人／女 6,352人／世帯 4,766世帯(4月1日現在)

令和2年町長施政方針②
広報奥出雲3月号に続き、施政方針演説の内容を一部抜粋して掲載します。

―教育について―

小学校再編方針については、方針の再検討をしています。昨年の説明会や議会の皆さまから頂いた意見を反映させ、保護者や町民の皆様から信頼され、安心される方針とするともに、私自身も皆さまの声を直接受け止めながら、新しい再編方針を基に丁寧な協議を進めて参ります。GIGAスクールの推進については、※1「Society 5.0時代に生きる子ども達の未来を見据え、児童生徒一人一台の端末および通信環境を一体的に整備し、その活用を目指す」ので、国において先般補正予算が可決されました。先ずは、全小中学校施設において校内ネットワークを整備し、国の事業計画に合わせ今後5年程度をかけ、小学校1年生から中学校3年生までのタブレット端末全数を順次整備する計画としていきます。小中学校の学習指導要領改訂を見据え、子ども達の教育環境の充実を努めて参ります。令和2年度「高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくり」

ロジエクト」として、高校、行政、町民の皆様が一体となって取り組む「※2」横田高校魅力化コンソーシアム」を立ち上げ、運営支援を行います。今後は、このコンソーシアムを中心として高校魅力化、地域活性化を目的とした幼小中高連携、学校と地域の連携をさらに進めて参ります。

地域学習拠点施設整備事業については、町外、県外から横田高校へ年々多くの生徒が入学してきており、町民の皆様と一緒に積極的な交流が増えてきています。町外からの生徒の受け入れは歓迎すべきことであり、この流れを加速するため、地域の皆様との交流及び学習の拠点として地域学習拠点施設を整備します。

―その他―

※3 ICT技術の導入については、近年※4 AIや※5 RPAなどの先進的な技術の導入により、業務の効率化や負担軽減を図る取り組みが進められています。本町においても、業務の省力化を図り、より質の高い行政サービスを提供するため、RPA技術を税務業務へ試験的に導入し、その効果を検証し、町民の皆様の利便性の向上を目指します。また、議会においても議会活性化特別委員会から、議会改革を図るためタブレット端末の導入の提案を頂きました。

議案書や各種議会関連資料などを電子化することで、業務の迅速化や効率化、ペーパーレス化にも資するものと考えております。島根リハビリテーション学院については、令和2年度の入学試験で、定員を超える応募があり、推薦・一般入試合わせて、両学科で69名の合格発表が行われました。学院では、専門職大学化に向けた取り組みは、一旦見送るとの判断をしましたが、これを契機として、より質の高い教育を目指し、魅力ある学校づくりに向けて学院が一丸となって取り組んだことが、学生の確保につながったものと認識しています。

町としても、学院と連携して、最適な高等教育機関のあり方を検討し、地域との連携強化や、奨学金制度による就学支援を図り、国際交流活動なども推進しながら、医療・保健・福祉の「※6地(知)の拠点」形成を進めていきます。島根デザイン専門学校については、今年度から新たに「ITデザイン科」を新設されました。デザインに必要不可欠な「企画立案」「プレゼンテーション」や「デザイン制作」などの基礎を学び、アプリケーション開発、WEB上のデザインやWEBサイトの制作などITの専門技術を身につけることとなります。今後、社会で活躍することが出来る人材育成に励んでいただけるよう応援して参ります。

藤原努副町長 就任

地域で暮らす一人の町民としての知識と経験を活かします。



奥原 徹前副町長が県へ復帰するため3月末で副町長を退任されました。その後任として、このたび、町議会におきましてご同意を賜り、4月1日付けで奥出雲町副町長に就任いたしました。現在、副町長という職責の重さに身の引き締まる思いであります。

私は、昭和58年4月仁多町に奉職以来、37年間役場に勤めさせていただきました。その間、農業振興や道路建設改良事業のほか、定住推進、人事、財政などの業務に携わってまいりました。

この度、役場職員としては退職いたしますが、4月からは副町長という立場で、引き続き、町政に関わらせていただくことになりました。

役場職員としての経験はもとより、地域で暮らす一人の町民としての知識と経験が、少しでもお役に立てればと考えております。

現在、奥出雲町では人口減少という難題に立ち向かうため「次期総合計画」の策定を進めようとしております。また、第三セクターの経営健全化、小中学校の再編、地域医療の確保など、喫緊の課題も山積しております。

それぞれ課題に対する取り組みが、一歩でも前進するよう、精一杯努めて参る所存であります。ここ奥出雲町には、豊かな自然と文化があり、美しい景観、仁多米、温泉、たたら製鉄などの地域資源も豊富にあります。私たち奥出雲町民にとって当たり前の地域資源が、都市住民にとっては貴重な存在であることを認識し、そのことに誇りを持ち、今まで以上にこれらを活用することで、奥出雲町は未来に向かって発展できると確信しています。

奥出雲町に住んで良かった、これからも住み続けたいとすべての町民が思えるよう、町長を補佐し、職員と力をあわせて、町政発展のため全力を尽くす所存であります。町民の皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

奥原徹副町長 退任

奥出雲町の応援団として、奥出雲町をこれからも応援します。



3月31日、行政各般にわたりご尽力いただきました奥原徹副町長が退任されました。奥原副町長は平成29年4月の就任以来、3年にわたり町政運営にご尽力いただきました。島根県職員としての経験や知識をもって、地域づくりや定住対策では「小さな拠点づくり」の推進、住み慣れた地域で自分らしい生活がおくれるような「地域包括ケアシステム」の構築など、町の発展に多大な貢献をされました。

奥原副町長は、退任に際し「これまで副町長として、また奥出雲町民として多くの皆様との出会いがあり、貴重な経験をさせていただきました。タウンミーティングでは、高校生や若い方から奥出雲町を良くしていきたいという強い思いを聞きまして、小さいな拠点を聞きまして、住民の皆さんが、夜遅くまで地域の将来を議論し、課題解決に向けて取り組みをされており、「地域の持つ力こそが、奥出雲の将来を担っていく」と強く感じました。厳しい道のりですが、町民の皆様と行政が心を一つにして立ち向かえば、希望溢れる奥出雲町の未来を築いていくと確信しています。」と述べられました。

議案書や各種議会関連資料などを電子化することで、業務の迅速化や効率化、ペーパーレス化にも資するものと考えております。島根リハビリテーション学院については、令和2年度の入学試験で、定員を超える応募があり、推薦・一般入試合わせて、両学科で69名の合格発表が行われました。学院では、専門職大学化に向けた取り組みは、一旦見送るとの判断をしましたが、これを契機として、より質の高い教育を目指し、魅力ある学校づくりに向けて学院が一丸となって取り組んだことが、学生の確保につながったものと認識しています。

社会福祉法人仁多福祉会と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」締結

4月1日、奥出雲町と社会福祉法人仁多福祉会との「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」の締結式が行われました。福祉避難所とは、高齢者や障がい者、妊婦など災害時に援護が必要な人たちに配慮した市町村指定の避難所でバリアフリー等の一定の条件を満たした施設です。本協定により、大規模な地震や風水害等が発生し、災害時要援護者の避難が必要となった場合、町からの要請に基づき避難者を受け入れる福祉避難所の設置を連携して行うこととなります。勝田町長は「近年、災害が多発し、町民の防災意識も高まっており、バリアフリーや冷房設備の整った施設が福祉避難所として運営が可能となり心強く感じます。」と話され、藤原理事長からは「施設の機能を活かして、安心して避難生活がおくれるよう支援していきます。」と述べられました。

自衛隊入隊予定者激励式

今春より自衛隊員として働く奥出雲町出身者に対し、自衛隊入隊予定者激励会が3月2日に役場仁多庁舎で行われました。自衛隊への入隊は本町では4年連続となります。激励会のなかで「奥出雲町出身者としての誇りを持ち、町民の期待を背に入隊していることを忘れず、使命感溢れる自衛隊員として活躍して欲しい。」との激励の言葉が勝田町長から入隊者の小早川祐輝さんへ送られました。



▲自衛隊に入隊する小早川祐輝さん

- ※1 日本が提唱する未来社会コンセプト。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を目的とする。
- ※2 地域の子ども達にどのように育ってほしいか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域の住民や教育機関等多様な主体が参画し、魅力ある高校づくりに取り組む協働体制をいう。
- ※3 「情報通信技術」の略
- ※4 「人口知能」の略
- ※5 「業務プロセス自動化」の略
- ※6 文部科学省が大学を対象に「地域社会との連携強化による課題解決」や「地域振興策の立案・実施を視野に入れた取り組み」を支援する施策をいう。

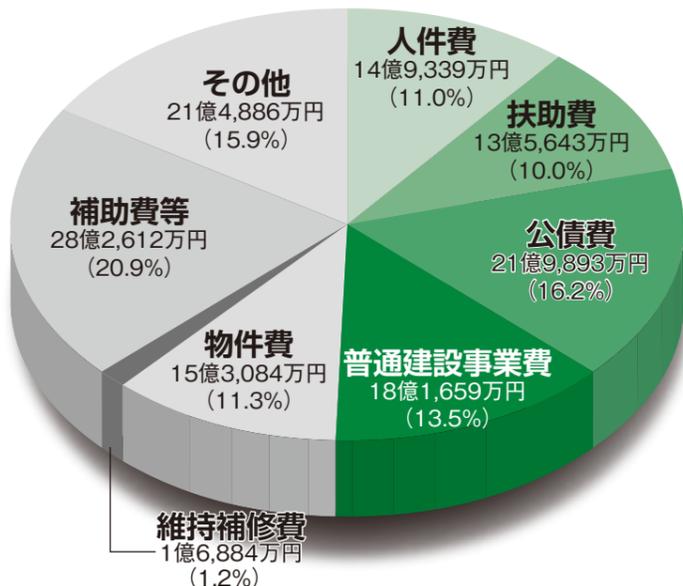
令和2年度の主な事業

・総合計画策定事業	869万円
・路線バス整備事業	3,200万円
・小さな拠点づくり推進事業	2,040万円
・地域情報施設整備事業	2億4,200万円
・住宅整備支援事業	1,000万円
・高校みなし寮運営事業	1,634万円
・屋内型子どものあそび場づくり事業	391万円
・保育所副食費負担金	923万円
・可燃ごみ広域処理検討事業	578万円
・可燃物処理センター施設改修事業	5,687万円
・中山間地域等直接支払交付金事業	4億6,766万円
・多面的機能支払交付金事業	2億1,469万円
・農業基盤整備促進事業	2,550万円
・森林環境譲与税関連事業	3,910万円
・除雪機械施設整備事業	5,007万円
・道路整備事業	5億5,852万円
・橋梁長寿命化補修事業	5,641万円
・消防車両等整備事業	2,673万円
・耐震性貯水槽設置事業	4,129万円
・教育用ICT機器整備事業	240万円
・地域学習拠点施設整備事業	2億7,005万円

○令和元年度からの主な繰越事業

・道路整備事業	1億3,518万円
・小中学校校内通信設備整備事業	1億1,868万円

性質別に歳出をしてみると…



用語の説明

人件費	職員・特別職の給与、議員・各委員会委員の報酬などに使うお金
扶助費	生活保護、児童手当、医療費などに使うお金
公債費	道路、公共施設整備などのために借り入れた町債の返済に使うお金
普通建設事業費	道路、橋、学校、公園などの建設、整備に使うお金
物件費	業務委託料、使用料、物品調達などに使うお金
維持補修費	公共施設などの修繕に使うお金
補助費等	各種事業、団体への補助金や負担金として使うお金
その他	投資及び出資金、貸付金、積立金などに使うお金



町民1人あたり

172万3,056円

※人口12,324人(4月1日現在)

一般会計 135億4,000万円

前年度当初予算(141億8千万円)と比較して4.5%、6億4千万円の減

議会費

町議会の活動・運営のためのお金
8,872万円(0.7%)

総務費

一般的な管理事務、徴税、戸籍、統計、選挙などのお金

民生費

生活保護、児童手当などの福祉のためのお金

衛生費

ごみ処理の経費や健康増進のためのお金

労働費

失業対策や勤労者の福利厚生のためのお金
1,404万円(0.1%)

農林水産業費

農業・畜産業・林業の振興のためのお金

商工費

商工業や観光の振興のためのお金
1億6,536万円(1.2%)

土木費

道路や公園、住宅の整備・維持管理のためのお金

消防費

消防活動のためのお金
4億6,635万円(3.5%)

教育費

小・中学校教育、公民館などのお金

公債費

借入金の返済のためのお金

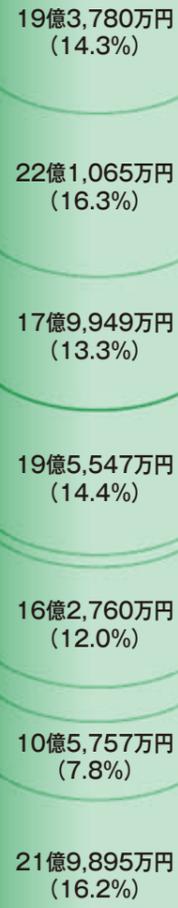
諸支支出金

普通財産を取得するためのお金
1,000万円(0.1%)

予備費

予定外の支出、予算を超過した支出へ対応するためのお金
800万円(0.1%)

歳出



歳入



町税

町民税、固定資産税など

繰入金

基金(貯金)や特別会計から入ってくるお金
6億4,054万円(4.7%)

使用料及び手数料

情報や公民館の使用料、証明書の交付手数料など
3億6,032万円(2.7%)

分租金及び負担金

事業の実質負担などのお金
5,445万円(0.4%)

寄附金

ふるさと応援寄附金など
2億円(1.5%)

譲収入ほか

どの費目にも含まれない収入

地方交付税

税収の少ない町に一定のサービスが提供できるよう、国から交付されるお金

町債

施設整備や道路改良などのために国や金融機関から借り入れるお金

県支出金

県が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金

国庫支出金

国が認めた特定の事務事業に対して交付されるお金

地方消費税交付金

国が徴収した税金から基準に従い交付されるお金
2億5,930万円(1.9%)

地方譲与税

国が徴収した税金から基準に従い譲与されるお金
1億6,259万円(1.2%)

利子割交付金ほか

県が徴収した利子に掛かる税金から交付されるお金など
2,817万円(0.1%)

自主財源

依存財源

令和2年度当初予算

会計別の当初予算

会計名	当初予算額
一般会計	135億4,000万円
国民健康保険事業	14億4,951万円
後期高齢者医療保険事業	4億3,051万円
介護老人保健施設事業	3億6,222万円
介護サービス事業	3億7,591万円
訪問看護ステーション事業	3,039万円
公共下水道事業	3億2,180万円
農業集落排水事業	5億4,720万円
合併処理浄化槽事業	1億7,940万円
仁多発電事業	1億267万円
三井野原スキーリフト事業	1,000万円
国営農地開発事業	500万円
農業用小水力発電事業	2,356万円
奥出雲病院事業	24億178万円
水道事業	14億5,500万円
特別会計等 計	76億9,495万円
合計	212億3,495万円

歳入

当初予算の特徴

町が主体的に収入している自主財源は31億9,511万円(全体の23.0%)、このうち町税(全体の15.1%)で、前年度比2.1%減、寄附金は2億円で、前年度比2.8%減、繰入金(6億4,054万円)で、収支調整のために用いる財政調整基金、減債基金の繰入額の増などにより前年度比56.3%の増となっています。

また、臨時財政対策債を含む地方交付税が1億3,200万円の減、横田小学校プール改築事業の終了等に伴い、普通建設事業が大幅減となったことなどにより、国庫支出金、町債が減となったため、依存財源は104億3,049万円(全体の77.0%)で、前年度と比べ6.7%減少しました。

歳出

町で借り入れた町債の返済や人件費などの義務的経費は50億4,875万円(全体の37.2%)となっています。

建設事業等の予算は18億1,659万円(全体の13.5%)を計上し、町の基盤整備に努めます。

また、補助費や物件費などの消費的経費は、前年比2.8%増の45億2,580万円(全体の33.4%)を計上しています。



若者世代・子育てをする皆さんの定住を応援します!

住宅整備支援事業補助金制度のご案内

町内在住者の方やUIターンで定住される方で、新築、空き家バンクを通じた住宅購入、増改築に対して費用の一部を補助します。

◆ 対象者 (①～③のいずれにも該当すること)

- ① 夫婦いずれか一方の年齢が40歳以下(昭和55年4月2日以降に生まれた方)である者の世帯。(空き家バンクを通じた住宅購入及び増改築の場合は年齢を問いません。)
- ② 補助金交付後10年以上居住し、地区自治会等組織に積極的に加入する方。
- ③ 町税及び公共料金の滞納のない方

◆ 補助額

基本額に世帯の状況に応じた加算額を加えた金額となります。

基本額	加算額				基本額
	子ども加算	新婚加算	転入加算	三世帯同居加算	
新築・住宅購入 50万円	30万円/1人 (中学生以下 3人まで)	30万円 (婚姻から 1年以内)	30万円 (転入から 1年以内)	10万円	1/4 以内
増改築 30万円					

◆ 補助の対象となる金額

- ・新築及び住宅購入の場合は、工事等費用の総額が200万円以上。
- ・増改築の場合は、工事費用の総額が120万円以上。
※増改築の施工業者は町内に事業所を有する法人または個人事業者に限ります。

■ 今年度に事業実施予定の方は7月末までに事前相談ください。

～ 補助金交付までの流れ ～

- ① 事前のお問い合わせ
- ② 申請書・必要書類の提出
- ③ 工事着手
- ④ 工事完了
- ⑤ 報告書の提出
- ⑥ 検査員による検査
- ⑦ 補助金交付

売りたい・貸したい空き家を空き家バンクに登録しませんか?

町では、空き家の有効活用による地域の活性化を図るため「奥出雲町空き家バンク制度」を行っています。空き家の利活用について考えている所有者の皆さん、空き家バンクに物件を登録してみませんか。

空き家バンクとは?

売却または貸出しを希望する空き家の物件情報を、町が情報提供する制度のことです。

空き家バンクに物件を登録できる人は?

空き家に係る所有権その他の権利を有し、当該空き家の売却または賃貸を行うことができる人

支援制度

※着工前に書面による事前申請が必要となります。交付要件がありますので、まずは窓口にご相談ください。

◆ 空き家片づけ支援補助金

空き家バンクに登録した物件について、残存する家財道具の処分や清掃等を行う場合、経費の一部を助成します。

対象者 空き家の所有者または利用登録者

補助金 上限10万円

～自治会の皆様へ～

自治会内において把握している空き家について、空き家所有者に空き家バンク制度を紹介して頂き、その物件が空き家バンクに登録完了された場合、報奨金を交付します。

報奨金交付額 空き家バンク登録1件につき、10,000円。

【空き家・移住・定住の相談窓口】

まち・ひと・しごとセンター奥サポ(奥出雲町サイクリングターミナル内)

[有線] 31-0022 [電話] 54-0022

【補助金の相談窓口】地域づくり推進課 有線 31-2524 電話 54-2524



夢への第1歩!

島根リハビリテーション学院卒業式

3月10日、島根リハビリテーション学院卒業式が、島根リハビリテーション学院の講堂で行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての式典でしたが、理学療法学科20名と作業療法学科12名は、入学当初のワクワク感と不安感を共有し、夢を実現するため実習や国家試験を共に乗り越えた友人との思い出を振り返り、温かな雰囲気で行われました。卒業生代表の新田美優さんは「全員が全力投球した4年間でした。『あなたで良かった』と思ってもらえる療法士になりましょう。」と述べました。



感謝のこぼれを述べた
新田美優さん

リハビリテーション学院 入学式

4月8日、カルチャープラザ仁多で島根リハビリテーション学院の入学式が行われました。新入生は、理学療法学科39名、作業療法学科29名で開校以来最高人数となりました。

新入生代表の深田真奈さんは「本学院で、必要な知識と技術を習得し、医療だけでなく、介護やスポーツなど様々な現場でリハビリテーションを受ける人を笑顔にできる療法士になるため、国家試験合格を目指し、努力していきます。」と述べました。また、担任の先生からは「これまで『理想の自分』を見つけ、それに向かって努力した学生が、4年間で大きく成長した姿を見てきました。皆さんも『理想の自分』を見つけ、頑張ってください。」とエールが送られました。



誓詞を述べた
深田真奈さん

島根デザイン専門学校 入学式

4月2日、島根デザイン専門学校で入学式が行われました。昨年度は閉校しておりましたが、今年度からデザイナーに必要な「企画立案」、「プレゼンテーション」、「デザイン制作」などの基礎を学び、アプリケーション開発、WEBのデザインやWEBサイトの制作などITの専門技術を身につける「ITデザイン科」が新設され、12名が入学しました。新入生代表は、「これから始まる学校生活では、留学生と共に学び、新入生同士で助け合いながら、お互いの目標に向かって、日々、精進していきます。」と、これからの抱負を述べました。新入生は、ネパールやスロバキアなど多国籍にわたり、自らの夢に向かって島根デザイン専門学校で2年間学業に励まれます。



入学式の様子

対象地域 出雲市・奥出雲町・飯南町 図柄入り出雲ナンバー

2020年5月11日(月) 交付開始!!

車の購入時だけでなく、使用中の車もいつでも交換可能です!



		図柄入り(カラー版)		図柄入り(モノトーン版)	
登録自動車	自家用	(中版)手数料 8,620円+寄附1,000円以上	(中版)手数料 8,620円	(中版)手数料 8,620円	(中版)手数料 8,620円
	事業用	(大版)手数料14,220円+寄附1,000円以上	(大版)手数料14,220円	(大版)手数料14,220円	(大版)手数料14,220円
軽自動車	自家用	(中版)手数料 9,340円+寄附1,000円以上	(中版)手数料 9,340円	(中版)手数料 9,340円	(中版)手数料 9,340円

※図柄入り出雲ナンバーはすべて希望ナンバーになります。

※寄附金は、出雲ナンバー対象地域の交通改善、観光振興等に活用されます。

ご自分でWEBまたは窓口でお申込みいただくか、販売店・整備工場・行政書士にご相談ください。

■WEB申込: [図柄ナンバー申込サービス](https://www.graphic-number.jp/) 検索 <https://www.graphic-number.jp/>

■窓口申込: 登録自動車/島根県自動車整備振興会 電話0852-37-0041

軽自動車/島根県自動車整備振興会 軽希望番号予約センター 電話0852-37-0041

■問い合わせ先: 出雲ナンバー推進協議会事務局(出雲市縁結び定住課) 電話0853-21-6771

課名・課長	課長補佐	グループ名	グループ員	主 な 担 当 事 務
健康福祉課(54-2781)	陶山 初美 31-5141	健康づくり推進グループ (54-2781)	主任保健師 鹿野 咲子 保健師 立石 琴美 主任保健師 藤原 敬子 保健師 内田 あき 主任保健師 上田 尚美 保健師 佐藤 綾香 主任保健師 松本 直子 会計年度 谷山 直子 主任保健師 奥山 智美 会計年度 安立 君江	健康増進、感染症予防、がん予防、生活習慣病予防、食生活指導、母子保健、精神保健、献血等
		31-5142 31-5144 31-5143 31-5145		
子育て世代包括支援センター(54-2781)	センター長(兼職) 杠 康彦	コーディネーターサポート(兼職) 陶山 初美	コーディネーター 主任保健師 鹿野 咲子	妊娠・出産・子育てに関する各種相談、支援プランの作成等
福祉事務所(54-2541) 所長 末森利江子 31-5377	難波 輝彦 31-5370 森山 昇 31-5371	福祉グループ 31-5375 31-5376 31-5386	企画員 藤原 智恵 会計年度 宇田川真子 企画員 山田 直樹 会計年度 石見 浩	障がい者(児)福祉、ひとり親家庭・寡婦福祉、福祉医療、児童扶養手当、児童福祉、女性相談等
		生活支援グループ 31-5372 31-5373 31-5374	企画員 永瀬 直子 会計年度 堀江 寿子 企画員 田中布美子 会計年度 山田 美鶴 主任主事 深田 将平 会計年度 森脇 保子	生活保護、生活困窮者自立支援、養護老人ホーム、民生児童委員、社会福祉法人、高齢者福祉、引きこもり支援、乳幼児等医療、児童生徒医療等
水道課 (52-2676) 課長 千原 明浩 20-4280	嵐谷 勉 20-4282 内田 芳夫 20-4281	上水道グループ 20-4283 20-4284 20-4285	企画員 藤原 吉晴 会計年度 森山須美雄 企画員 山田 和彦 会計年度 細木 栄二 企画員 長谷川 稔 会計年度 松崎 澄夫 主任主事 佐伯 智大 会計年度 山田扶美子	上水道事業
		下水道グループ 20-4286 20-4288	(再)企画員 和久利民男 (企画員 長谷川 稔) 企画員 前田 朝輝 会計年度 細木 千穂	公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽事業等
地域づくり推進課(54-2524) 課長 高尾 昭浩 31-5260	高橋 千昭 31-5261	地域づくり推進グループ 31-5262 31-5263 31-5264 31-5265	企画員 安部 宏明 会計年度 村上 順子 企画員 佐藤 俊一 主任主事 中村 有希 主 事 堀尾 誠也	空き家対策、地域交通、奥出雲交通、地域活性化対策、定住対策、小さな拠点づくり、まち・ひと・しごとセンター
奥出雲町まち・ひと・しごとセンター「奥サポ」 (54-0022)	センター長(会計年度) 渡部 昭雄		会計年度 三原 務	移住・定住相談、空き家バンク、無料職業紹介
商工観光課(54-2504) 課長 本山 宏人 31-5270	渡部 久子 31-5272	商工観光グループ 31-5271 31-5273	企画員 赤名 和弘 主任主事 佐伯 綾 主 事 岩田 有貴 会計年度 内田 裕紀 会計年度 石原 淳子 会計年度 源 淳子	商工業振興対策、企業誘致、起業・創業支援、雇用対策、観光振興対策、三井野原スキーリスト事業、自然公園に関する業務、観光施設等の整備・維持管理、奥出雲町観光協会との連携、景観に関する業務、尾原ダムに関すること、県人会・町出身者会、(株)奥出雲振興、奥出雲酒造(株)、道の駅に関すること、計量に関すること
		奥出雲町観光協会 (54-2260)	事務局長 (兼)本山宏人 事務局次長 川西 美春	事務局員 グラフアナ・サマー 事務局員 日野由加里 事務局員 嵐谷 康隆 地域おこし協力隊 佐藤 克枝
農業振興課(54-2513) 課長 荒川 佳史 31-5280	川西 博司 31-5282	農政グループ 31-5288	主任主事 小村 尚史 主 事 藤原 祥央	地域農業計画、担い手育成、農地利用集積、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、人・農地プラン等
		岡田 光弘 31-5281	農業生産グループ 31-5284 31-5287 31-5285 31-5290 31-5286	企画員 眞綿 由加 主 事 矢部 混騎 企画員 落合 健介 会計年度 佐伯 光信 主任主事 細田 尚平 会計年度 青木 佳世 主 事 糸原 宏生
	谷山 貴宣 31-5283	農業遺産推進グループ 31-5297	企画員 宍戸 俊悟	農業遺産の推進
農業公社 (54-0881)	事務局長(兼職) 荒川 佳史 事務局次長 松崎 康人 31-5295		繁殖育成センター長 嵐谷 透 第2繁殖育成センター長 原 伸二 第2繁殖育成センター長代理 松崎 孝佳	事業係長 渡部 健 係員 渡部 憲 主任 兒玉 真也 係員 若槻 優 主任 佐藤 幸信 景山 真弓
農業委員会 (54-2514)	事務局長 田中 修 31-5289 31-5297		書記 農業振興課農政グループ職員 会計年度 宇田川みちる	農地管理、農業者年金

役場の行政機構と職員配置 令和2年4月1日現在

仁多庁舎のご案内

- 1階** 町民課・出納課・健康福祉課
 - 2階** 地域包括支援センター・福祉事務所・地域づくり推進課
農業振興課・農業委員会・(農業公社)
 - 3階** 総務課・企画財政課・商工観光課
- 奥出雲町まち・ひと・しごとセンター「奥サポ」

サイクリングターミナル

三成駅前

観光協会

横田庁舎のご案内

- 1階** 税務課・教育委員会(教育魅力課、結婚・子育て応援課)・水道課
- 2階** 農林土木課・(土地改良区)・建設課・(土地開発公社)
- 3階** 議会事務局

町 長 勝田康則 副町長 藤原 努

課名・課長	課長補佐	グループ名	グループ員	主 な 担 当 事 務
総務課 (54-2505) 課長 森長 洋二 31-5220	糸原 和弘 31-5221 恩田 慎司 31-5224	人事グループ 31-5222 31-5223	係 長 恩田 一博 主任主事 練田 有紀 企画員 福田貴美子 会計年度 岡本ゆかり	儀礼、職員人事・給与、表彰等
		総務情報グループ 31-5225 31-5226	企画員 稲岡 宏典 会計年度 恩田 政明 企画員 山根 昌平 会計年度 佐藤のぞみ 主任主事 尾崎 泰明 会計年度 青戸真菜美 主任主事 井上真由香	秘書、告示・公告、自治会、情報公開、広報公聴、選挙、議会、地域情報化、ケーブルテレビ、インターネット、情報通信協会等
企画財政課(54-2522) 課長 江角 啓 31-5240	平田 昭憲 31-5227 雲南広域連合 雲南市・飯南町事務組合	防災管財グループ 31-5228 31-5229 31-5231	企画員 浅野 龍城 主 事 寺田 勇一 企画員 高橋 覚 会計年度 石田 静男 主任主事 内田 直輝 会計年度 松原美由紀	消防・防災、自衛官募集、公有財産管理、嘱託登記等
		課長補佐 松島 秀幸	主任主事 吉川 晋吾	
選挙管理委員会(54-2505)	事務局長(兼職) 森長 洋二	事務局次長(兼職) 石原 啓子	書記 総務課職員 書記 税務課職員	各種選挙の執行・管理等
情報通信協会(54-2525)	事務局長 重村 雅和 31-5350	事務局次長(兼職) 恩田 慎司	課長 勝部 賢治 主任 児玉 麻里 職員 高橋 大致 嘱託員 佐藤 彩香 主任 北原 展一 職員 中林 司 嘱託員 眞鍋亜由美 主任 恩田 梢 嘱託員 加藤智恵子 嘱託員 佐野木信義	
税務課 (52-2671) 課長 石原 啓子 20-4201	石原 耕司 31-5241 若槻さとみ 20-4256	企画財政グループ 31-5242 31-5245 31-5243 31-5244	係 長 青木 秀樹 主任主事 篠原 健二 企画員 渡部 英子 主 事 安部 有紗 主任主事 藤原 知恵 会計年度 土江由起夫 主任主事 廣田 駿二 会計年度 藤原まゆみ	地方創生、総合計画、過疎・辺地計画、国土利用計画、統計調査、ふるさと応援寄附、財政指標、地方交付税、予算編成、決算資料、入札執行事務等
		町民福祉グループ 20-4101 20-4102	(再)企画員 石原みゆき 企画員 三澤久美子	主任主事 藤原 百華 主 事 石原 百華
町民課 (54-2510) 課長 堀谷 智樹 31-5100	佐藤久美子 31-5101 石原 和夫 31-5102	戸籍グループ 31-5103 31-5108 31-5104 31-5109 31-5106	企画員 石原ゆう子 会計年度 藤原 博 主任主事 高橋 淳美 会計年度 戸屋 友里 主 事 内田 美奈 会計年度 藤原 智子	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、埋火葬許可、諸証明、国民年金、マイナンバーカード、人権擁護、税務課、結婚・子育て応援課の窓口業務等
		町民グループ 31-5105 31-5107	企画員 西村 英資 会計年度 岸本 三雄 企画員 野村 拓也 会計年度 木原 圭二 主 事 市原 滯 会計年度 朝鳴 進也 会計年度 小田 正弘 会計年度 表 里志 会計年度 和久利志保 会計年度 芦尾 泰威	男女共同参画、日本赤十字、旅券、町営住宅管理、交通安全、防犯、可燃物等収集、し尿処理、斎場、墓地、犬の登録、地球温暖化防止対策、環境保全、建設課、水道課の窓口業務等
健康福祉課(54-2511) 課長 杠 康彦 31-5120	江角 浩司 31-5121 兼職 杠 康彦	保険グループ 31-5122 31-5124 31-5123	企画員 景山 佳世 会計年度 朝津みゆき 企画員 山根 恵里 主任主事 伊豆麻衣子	国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業等
		医療介護連携グループ 31-5136	主任主事 和久利 司	地域医療政策、地域包括ケアシステム等
調整監 稲田やよい 31-5131	上田 礼子 31-5785 兼職 稲田やよい (主任介護支援専門員)	訪問看護ステーション(54-2000) 31-5785	主任看護師 木村 悦子 会計年度 高橋 晴美 主任看護師 藤原 知美	訪問看護(介護・医療)
		地域包括支援センター(54-2512) 31-5132 31-5135 31-5133 31-5134	主任保健師 加納 優 会計年度 大森 文子 社会福祉士 友塚 真弓 会計年度 安部かえで 会計年度 内田いづみ 会計年度 葛川 智美 会計年度 藤原 直美 会計年度 萩原 陽子	高齢者の総合相談、介護予防支援業務、地域支援事業、認知症支援事業、在宅医療介護連携支援相談業務等

よろしくお祈りします。

新規採用職員の紹介



勝部 和久(かつべ かずひさ)
【奥出雲病院総務課 企画員】

これまでのキャリアを活かし、奥出雲町の医療や介護の充実に尽力致します。よろしくお祈り致します。



矢部 滉騎(やべ ひろき)
【農業振興課 主事】

生まれ育ってきた奥出雲町のさらなる発展に寄与できるよう精一杯努力して参ります。よろしくお祈り致します。



岩田 有貴(いわた ゆうき)
【商工観光課 主事】

笑顔や感謝の気持ちを大切に、奥出雲町や町民の皆様にご貢献できるよう頑張ります。よろしくお祈り致します。



伊帳田 樹(いちょうだ いつき)
【農林土木課 主事】

生まれ育ててもらった奥出雲町で働ける事に感謝し、皆様のお役に立つ仕事ができるよう頑張ります。よろしくお祈り致します。



堀尾 誠也(ほりお せいや)
【地域づくり推進課 主事】

これまでお世話になった奥出雲町をより良い町にできるよう精一杯努力していきます。よろしくお祈り致します。



渡部 志乃(わたなべしの)
【奥出雲病院 臨床検査技師】

これまでの経験を活かし、一日でも早く町民の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお祈り致します。

新規地域おこし協力隊員の紹介



こばやし ゆうすけ
小林 祐介
(鳥取県出身)
【奥出雲きのこ栽培育成隊】

雲太エンジニアとして、見て・食べて感動できる雲太を生産し、町内外に伝えていきたいと思ひます。

さとう かつえ
佐藤 克枝
(千葉県出身)
【JR木次線応援隊】

奥出雲の素晴らしい景色と特色をPRしてきたいと思ひます。



ほそぎ としゆき
細木 敏幸
(奥出雲町出身)
【横田高校魅力化コーディネーター】

高校生と地域を繋ぎ、活動を支援しながら、奥出雲町の良さを伝えていきたいと思ひます。

おちあい たかゆき
落合 孝行
(奥出雲町出身)
【しごとづくりコーディネーター】

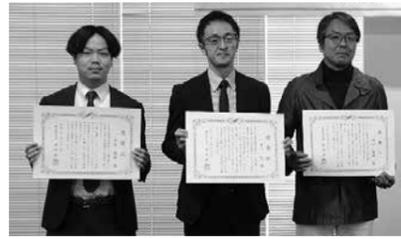
東北から大好きな奥出雲町に戻ってきました。また一から勉強しながら、地元にご貢献できるよう全力で頑張ります!



地域おこし協力隊員の退任

ひらい ゆうき
平井 優樹(左)
【島根リハビリテーション学院 魅力化コーディネーター】

島根リハビリテーション学院で3年間充実した日々を過ごす事ができました。これからも職員として、学院を盛り上げられるよう頑張ります。



よこた やすのり
横田 泰規(右)
【起業独立型隊員】

古民家を改修し拠点を作りました。この拠点で、引き続き活動していきます。

いのうえ あきら
井上 晃(中央)
【横田高校魅力化コーディネーター】

縁もゆかりもない奥出雲町に大阪府から1ターンしましたが、地域や職場で温かく迎えてもらい、楽しく過ごせました。

3年間ありがとうございました!



課名・課長	課長補佐	グループ名	グループ員	主な担当事務
農林土木課 (52-2673) 課長 秋田 和浩 20-4210	鐵池 淳 20-4220	農林管理グループ 20-4221 20-4223 20-4222 20-4224	企画員 佐々木聡志 主事 伊帳田 樹 企画員 陶山 泉 会計年度 久井 一 主事 漆谷 大樹 会計年度 梅木 優	森林整備事業、保安林等に関する事務、山林地籍調査、特用林産、新エネルギー、バイオマス利活用、小水力発電等
	佐佐木孝雄 20-4290	農林土木グループ 20-4291 20-4292	(再)企画員 森山 正人 主任主事 景山 隆成 主任主事 山崎 進也	農業農村整備事業、農道・林道整備事業、農林土木災害等
土地改良区 (52-2112)	事務局長 20-4521 安部 博 20-4517 20-4522		主幹 植田 秀昭 主事 安部 東洋 主幹 落合 央行 嘱託員 恩田美和子	土地改良事業、坂根ダム施設管理等
建設課 (52-2675) 課長 松原 三美 20-4230	石橋 悟 20-4231	建設管理グループ 20-4232 20-4233 20-4234	企画員 落合 和宏 会計年度 土居 千絵 企画員 陶山 俊治 主任主事 友塚 彰	道路・河川・橋梁の維持管理、法定外公共物の管理、用地等の取用、都市公園整備管理、土地開発公社等
	佐伯 幹夫 20-4236	土木グループ 20-4234 20-4239 20-4235 20-4240 20-4237	企画員 田食 晃隆 会計年度 井上 満 企画員 安部 俊光 主任主事 足立 剛 主任主事 木地谷 航	町道改良・修繕、交通安全施設整備、公共土木災害、道路除雪等
出納課 (54-2545) 会計 森田 近子 管理者 31-5110	兼職 森田近子	出納グループ 31-5111 31-5112	(再)企画員 安部真理子 企画員 梅木 美穂 会計年度 松井 幹雄	出納一般、決算事務、用品管理等

教育長 塔村 俊介

課名・課長	課長補佐	グループ名	グループ員	主な担当事務
教育魅力課 (52-2672) 課長 永瀬 克己 20-4322 管理監 加納富美夫 20-4327	派遣指導主事 糸原 保弘 20-4261 岸本 義弘 20-4263 20-4265	学校教育グループ 20-4262 20-4320 20-4263 20-4264 20-4265	企画員 川角 健一 会計年度 小林 千穂 企画員 野村 紀子 ALT パロニカパレス 主任主事 藤原 二朗 ALT キヤムロンティオン 主事 松崎 慎 会計年度 卯木 昌史	教育魅力化、教職員人事、文教施設管理、学校の指導管理、児童・生徒就学援助、学校給食等
	長谷川史郎 20-4326	学校再編グループ 20-4325 20-4326	主任主事 藤原 雄斗 会計年度 高橋さとみ 会計年度 松田 武彦	小学校再編協議関連事務
小 学 校	布 勢 54-9020 21-1518	校務技士 宇田川 昇		
	三 成 54-1015 31-1015	校務技士 伊藤 公子		
	高 尾 54-9030 33-0359	校務技士 大谷 淑子		
	亀 嵩 57-0012 71-0012	校務技士 山根真里子		
	阿 井 56-0033 62-0033	校務技士 赤名 祐子		
	三 沢 54-0777 81-0777	校務技士 鳥居 泰利		
	鳥 上 52-0129 20-0129	校務技士 膳棚 智子		
	横 田 52-0165 20-0165	校務技士 嵐谷 三穂		
	八 川 52-0211 20-0211	校務技士 藤原 茂美		
	馬 木 53-0109 30-0109	校務技士 佐伯 順子		
中 学 校	仁 多 54-1125 36-1125	校務技士 藤原 隆志		
	横 田 52-2331 20-2331	校務技士 佐伯 茂		
派遣社教主事 石原 弘治 20-4329 和久利佐由里 20-4324	地域学習推進グループ 20-4324 20-4329 20-4269	企画員 千田美保子 企画員 飯塚 宏江 CIR グルン エナ		社会教育、生涯学習全般、公民館、人権同和教育、社会体育、ホッケー普及、文化振興、文化財保護、国際交流等
公 民 館 等	布 勢 54-1504 22-1504	館 長 山田 伸二 主事 安部 晴美		
	三成中央 54-1311 31-1311	館 長 松原 房夫 主事 錦織 裕子 石原 朗子		
	農村環境改善センター図書室 54-2083 31-3013	主任司書 石飛 明子 司 書 勝部有紀子		
	亀 嵩 57-0616 71-0616	館 長 高橋 栄子 主事 赤名 京子		
	阿 井 56-0001 62-0001	館 長 山田 賢治 主事 福田 展子		
	三 沢 54-0331 81-0331	館 長 宮川 俊治 主事 川西世津子		
	鳥 上 52-1019 20-1019	館 長 高尾 富美 主事 福本 愛		
横 田 52-0949 20-4700	館 長 安部 茂寿 主事 大島 勲 司 書 古田川和枝			
八 川 52-0241 20-0241	館 長 小林 勝吾 主事 松崎由紀子			
馬 木 53-0201 30-0201	館 長 若月 薫 主事 青木 広美			
体育協会	事務局長(兼職) 永瀬 克己 事務局次長(兼職) 和久利佐由里	係 長 元山 貴光 主任 高橋 伸也 20-4269 20-4320		スポーツ振興等
結婚・子育て応援課 (52-2206) 課長 吉川 明広 20-4270	加藤智恵美 20-4271	結婚・子育て応援グループ 20-4272 20-4273 20-4274	企画員 渡部 靖子 主任主事 須谷嘉奈子 会計年度 石原 晴代 会計年度 田辺 綾子	出会い・縁結び支援、子育て支援、児童手当、幼児園、放課後児童クラブ、病児保育等

課名・課長	課長補佐	局長補佐	企画員	主な担当事務
議会事務局 (52-2678)	事務局長 石原 重夫 20-4308	局長補佐 安部 陽子 20-4207	企画員 石原 達也	議会、監査委員事務等

戦没者等のご遺族の皆様へ 第十一回特別弔慰金の請求を受け付けています

支給内容／額面25万円、5年償還の記名国債
請求期間／令和2年4月1日～令和5年3月31日
請求窓口／仁多庁舎町民課、横田庁舎税務課
対象者／戦没者等の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日において公務扶助料や遺族年金等の受給権者がいない場合に、先順位者お一人に支給されます。
 ※詳しくは、島根県高齢者福祉課のホームページをご覧ください。

島根県高齢者福祉課援護給グループ 電話0852-22-5240
 町民課戸籍グループ 有線31-5106 電話54-2510

島根県独自の課税制度を令和2年以降も継続します

【水と緑の森づくり税】

荒廃森林を再生し、水を育む緑豊かな森を次世代に引き継ぐため、平成17年度から「水と緑の森づくり税」を導入し、県民参加の森づくり等を実施しており、引き続き5年間実施します。

- 納める人(これまでと同じです)
個人:県内に住所がある人(一定の所得金額以下の人は非課税です)
法人:県内に事務所等を有する法人
- 納める額(これまでと同じです)
個人:年500円
法人:均等割額の5%相当額(1,000円～40,000円)
- 納付方法
現行の県民税均等割額に加算して、県民税の一部として納付します。
- 税収の使いみち(予定)
・県民参加・生活環境を守る森づくり事業(人々の生活や営みに近い集落周辺及びその上流部の生活環境林の再生、県民参加の森づくり)
・森づくり推進(水と緑の森づくり会議の開催、県民参加による森づくりへの専門家派遣、普及啓発活動)
・森と木を未来につなぐ取組(高校生等に向けた林業就業講座の実施、しまねの山をつくる種づくり・苗づくり、しまねの森と木の魅力を伝える取組)

【産業廃棄物減量税】

産業廃棄物の減量や適正処理を推進するため、平成17年度から「産業廃棄物減量税」を導入し、税収を活用した事業を実施しており、引き続き5年間実施します。

- 納める額
最終処分場に搬入された産業廃棄物の搬入重量1トンあたり1,000円を乗じた額
- 納める人
県内の最終処分場に産業廃棄物を搬入する排出事業者又は中間処理業者
- 税収の使いみち
・産業廃棄物の発生抑制や再生利用等の技術開発のため研究費への支援
・分別や減容化、製造加工等のための施設設備の整備費への支援
・リサイクル製品の販路開拓の支援
・監視カメラや啓発看板設置等の不法投棄防止対策
・最終処分場水質調査等の適正処理の推進
・3Rの普及と環境教育の推進

これらの税金に関する情報はインターネットでも提供しています。
<https://www.pref.shimane.lg.jp/zeimu/> 島根県総務部税務課 (電話 0852-22-5892)

環境にもお財布にも やさしい生活にチャレンジ!!

『地球温暖化って何?』

簡単に言うと、地球が服を重ね着した(温室効果ガスが増えた)から、暑くなったということです。私たちが今まで通りに生活を続けると、もっと厚着をすることになり気温上昇は加速します。

2100年の天気予報では、冬は2月の最高気温が東北南部以南では20℃以上になり、夏は札幌でも40℃以上になると予測されてます。

我々が今過ごしている生活環境・自然環境を、将来、子供や孫達にも楽しんでもらうためには、今の生活を見直す必要があります。

生活を見直す方法・見直しの考え方、温暖化の影響・将来予測などをお伝えしていきたいと思ひます。



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナйт
 (奥出雲町在住しまねエコライフサポーターの会)

6月は男女共同参画週間です!

【期間 6月23日～6月29日】

普段の生活の中や、仕事をする中で『男女で差があるな』と感じたことはありませんか?

「おかしいな」「不便だな」と感じることを、ご家族や友人、職場やご近所などで話し合う機会を作るのはいかがでしょうか。誰もが平等に過ごす権利があります。声に出してみることで、良い環境に変わるかもしれません。

【男女共同参画川柳】

うちのパパ
 そうじ頼むと 超うまい

★「男性の方って、掃除とか家事も上手だが」という気持ちを詠んだ作品です。

奥出雲町男女共同参画サポーター

【お問い合わせ】

町民課町民グループ
 有線：31-5107 電話：54-2510

令和2年度 脳ドック受診希望者募集のお知らせ

脳ドックは、脳の血管の状態などを検査することにより脳卒中などの予防や早期発見に役立つ検査です。

- 検査内容 MRI、MRA、頸動脈エコー、心電図、血液検査、検尿等
- 対象者 ・40～74歳までの方で、過去5年間脳ドックを受診していない方
・75歳以上の方で、過去5年間脳ドックを受けておらず、医療機関を受診していない方
※ペースメーカーや人工心臓弁を体内に入れている方、約1時間の安静に耐えられない方は受診できません。
- 受診機関 ・永生クリニック：奥出雲町横田1063-1
(MRI・MRA検査については雲南市立病院での受診となります)
・ヘルスサイエンスセンター島根：出雲市塩冶町223-7
※申し込み時にどちらかを選択していただきます。

- 自己負担額 12,000円(税込)
- 定員 ・永生クリニック：30名 ・ヘルスサイエンスセンター島根：27名
※希望者多数の場合抽選にて受診者を決定し、5月15日までに結果を郵送でお知らせします。
- 募集期間 4月27日(月)～5月8日(金)まで
- 申込み方法 電話 または メールにて受け付けます。
- お問い合わせ・お申し込み 健康福祉課 健康づくり推進グループ
有線：31-5143・31-5145 電話：54-2781
メール：hoken@town.okuizumo.shimane.jp
※問い合わせは電話での対応とさせていただきますのでご了承ください。

氏名・性別・生年月日・住所・昼間つながりやすい電話番号・加入健康保険・希望受診機関を入力し、メールでお申込みください。役場から、申し込み完了メールを後日送信します。

【住環境リフォーム助成制度】期間延長

制度のご理解と公共水域の保全のため、制度期間を令和3年3月31日まで延長しましたので、この助成制度を活用いただきますようお知らせいたします。(制度内容は以前と変わりません。)個人所有の浄化槽を撤去し、集合処理又は市町村設置型合併処理浄化槽への切替えも対象としていますので、お申込み下さい。

- ◇助成額 5万円または10万円
- 【お問い合わせ】
水道課 有線:20-4286 電話:52-2676

奥出雲病院助産師外来 「はぐくみ」のご案内

奥出雲病院では令和2年4月1日から助産師外来を開業し、助産師による妊婦健診や産後の育児相談などを行ないます。皆様とゆっくりお話をしながら一人ひとりの妊娠・産後をサポートしていきます。

- 【妊婦健診】
対象者:妊娠32週、37週の妊婦の方(希望者)
※事前の健診で医師の許可が得られた方
内容:血圧、体重測定、尿検査、エコー、保健指導等
- 【産後2週間健診】
対象者:当院で出産後のお母さんと赤ちゃん
内容:お母さんの体調、赤ちゃんの状態、授乳や育児状況の確認、育児相談等
- 【育児相談】
内容:赤ちゃんの体重チェックや授乳相談等
- 【実施日】
毎週水曜日14時～16時30分
1人30分程度(予約制)
- 【予約方法】
妊婦健診と産後2週間健診は事前にお取りします。育児相談は電話予約となります。
- 【予約やお問い合わせ】
奥出雲病院3階病棟(助産師まで)電話54-2773



愛犬と楽しく暮らすために

犬を飼うということは、犬の命を預かることです。飼い主になったら、愛犬が健康で安全に暮らせるとともに、社会や近隣に迷惑をかけないようにする責任があります。愛犬とともに楽しく暮らしていくためには、5つのことを守りましょう。

- 1.犬の習性等を正しく理解し、最後まで責任をもって飼いましょう
正しい知識を持ち、適切な飼い方をしましょう。
- 2.人に危害を加えたり、近隣に迷惑をかけることのないようにしましょう
おしっこやウンチ等で生活環境を悪化させないようにし、しつけや訓練をして人に危害を加えたり、無駄吠えで迷惑をかけないようにしましょう。
- 3.むやみに繁殖させないようにしましょう
きちんと管理できる数を超えないようにして、不妊・去勢手術などの措置を行いましょう。
- 4.犬から人へ伝染する感染症の知識を持ちましょう
正しい知識を持ち、自分や他の人への感染を防ぎましょう。生後91日以上は注射をうけさせましょう。
- 5.盗難や迷子になることを防ぐため、所有者を明らかにしましょう
犬を飼い始めたら役場の窓口で登録をしましょう。(仁多庁舎⇒町民課、横田庁舎⇒税務課)でできます。また、身元を示す迷子札や鑑札・狂犬病予防注射済票などを首輪につけるとともに、脱落の心配がないマイクロチップの埋め込みをしておくなど、二重三重の対策をとっておきましょう。

〈環境省自然環境局総務課動物愛護管理室HPより引用、改変〉



【お問い合わせ】

町民課 町民グループ
 有線 31-5107 電話 54-2510

5月の 行事予定

★★古紙回収★★ (問) 町民課54-2510

八川	八川コミュニティセンター 三井野原ふれあいセンター	9日(土)
馬木	馬木コミュニティセンター JA小馬木店舗下隣倉庫	
布勢	布勢コミュニティセンター	16日(土)
阿井	家畜集合施設 下阿井運動広場	
三沢	三沢公民館	23日(土)
横田	横田コミュニティセンター横 役場横田庁舎裏	
鳥上	鳥上コミュニティセンター	30日(土)
三成	役場仁多庁舎玄関横 下高尾旧消防格納庫	
亀嵩	亀嵩基幹集落センター 鳥谷木材店車庫	

★★成人健診★★ (問) 健康福祉課54-2781

胸部CT検査	26日(火)	奥出雲病院
大腸がん検診	12日(火)	八川コミュニティセンター/大谷
	19日(火)	横田コミュニティセンター/稲田/やりめ

★★乳幼児健診★★ (問) 健康福祉課54-2781

3歳児健診	14日(木)	平成28年9月・10月生まれ	13:00~13:15	奥出雲健康センター
10・11か月児健診		令和元年5月・6月生まれ	13:30~13:45	
7・8か月児健診	21日(木)	令和元年8月・9月生まれ	13:00~13:45	カルチャープラザ仁多
4・5か月児健診	28日(木)	令和元年12月・令和2年1月生まれ	13:00~13:15	

★★健康に関する相談★★

こころの健康相談日	11日(月)	14:00~15:00(予約制)	電話相談	役場仁多庁舎(問)健康福祉課54-2781
物忘れ相談会	19日(火)	8:30~16:30		役場仁多庁舎(問)健康福祉課54-2512

★★結婚・子育てに関する相談★★ (問) 結婚・子育て応援課52-2206

結婚・子育てコンシェルジュ相談所	17日(日)	10:00~15:00	横田コミュニティセンター
	26日(火)		カルチャープラザ仁多
結婚相談所「はぴこ」	10日(日)	10:00~15:00	雲州そろばん伝統産業会館
	12日(火)	13:30~15:30	社会福祉協議会仁多事務所

★★その他の相談★★

出張年金相談	8日(金)	10:00~15:30(予約制)	役場仁多庁舎	(予約先) 松江年金事務所 0852-23-9540
	22日(金)		役場横田庁舎	

★★イベント★★

素読論語「仁多志学塾」(多根自然博物館)	13日(水)
----------------------	--------

↳口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の4月分の口座振替は4月30日(木)です。

今回の振替は次の11項目です。

- 情報通信使用料
- 水道使用料
- 下水道使用料
- 保育料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 訪問看護利用料
- 介護サービス利用料
- 介護老人保健施設利用料

*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料(公共・農集・合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出をして下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

みんなの掲示板

自動車税種別割の納期内納付について

自動車税は令和元年10月に「自動車税種別割」に変わりました。自動車税種別割の納期限は6月1日(月)です。必ず納期限までに納めていただきますようお願いいたします。納税通知書が届かない場合は鳥根県東部県民センターへお問い合わせ下さい。コンビニエンスストア、ペイジー納付、パソコン、スマートフォンを利用したクレジットカード納付では夜間や休日にも納めていただくことができますので、ご利用ください。

5月1日(金)

◆納税通知書発送日

◆納付場所・方法

金融機関、コンビニエンスストア、県民センターの窓口、ペイジー納付(インターネットバンキング、モバイルバンキング、ペイジー対応のATM)、パソコン・スマートフォンを利用したクレジットカードによる納付

◆お問い合わせ

鳥根県東部県民センター 収納管理課
☎0852・32・5629

また、新車新規登録から11年経過したディーゼル車及び13年経過したガソリン・LPG車は、税額が約15%(バストラック等は約10%加算(重課)されます。

◆お問い合わせ

鳥根県東部県民センター 自動車諸税課
☎0852・32・5626

サポステ・ハローワーク 雲南出張相談会

◆対象者 15歳~49歳

◆相談日 5月27日(水)

◆相談時間 ①13時~14時 ②14時~15時 ③15時~16時

◆申込方法 要予約

◆窓口申込

ハローワーク雲南総合案内(電話申込)

しまね東部若者サポートステーション
サポステ松江 ☎0852・33・7710
サポステ出雲 ☎0853・31・6663

「スキマ時間ではじめてみよう! おくいずもをつくる・みんなのチャレンジスクール」開講 鳥根リハビリテーション学院



令和元年度より特任教員として着任しました尾野寛明です。新カリキュラムで組織経営やソーシャルビジネスの科目を担当しています。

地域連携事業として、役場地域づくり推進課と共同で「スキマ時間ではじめてみよう! おくいずもをつくる・みんなのチャレンジスクール」を開講しています。子育てや仕事の空き時間を活用して何かを始めたい。そう思う人がいま増えています。令和元年11月から全6回の連続講座で第1期講座がスタートし、20代から60代まで多様な人が集まりました。

受講生は興味あること、放っておけないことなどを話しながら自分なりの簡単な企画書を書き進めていきます。ものづくり、空き家再生、交流会の開催など様々な企画が立ち上がり、小さな一歩を踏み出す人も。

近年、地域を支える「担い手」不足が全国で問題になっていますが、スキマ時間で沢山の人が関われば、ゆっくりでもみんなで無理なく楽しく解決できるはず! 令和2年秋から第2期生の募集予定です。何かしたいとモヤモヤしているあなた! 全力で貴方の身の上話聞きますよ!

連絡先: 0854-54-0001
参加費無料・開催随時案内→



鳥リハHPご覧ください。

横田高校 横田高校の活動をお知らせする 「よここうコーナー」 卒業証書授与式

3月1日、卒業証書授与式を行いました。コロナウィルス感染防止のため、卒業生、保護者、教職員のみでの参加となりました。今年度は創立百周年という記念すべき年で、卒業生にとって、稲穂祭のフィナーレで生徒会の生徒が企画・実施した100の人文字作りを行ったことや、厳格な式典に参加したこと等が、とても印象深いものとなりました。

卒業生代表は、答辞で「1年生の『奥出雲学』や2年生の『だんだんカンパニー』といった地域課題研究を通して、『何らかの形で地域に貢献したい』『地域を元気にしたい』という気持ちを一人ひとりが自分の中に持っています。たとえ別の場所で暮らすことになっても、この奥出雲の地が私たちの礎を築いた場所であることには変わりありません。この3年間の横田高校での学びを胸に刻み、国際化や情報化が進む困難な時代を乗り越えていきます。」と述べました。



卒業生代表が答辞を述べる様子



- 今月のピックアップ -

『出雲神話論』

姉アマテラスに逆らって追放されたスサノヲ。スサノヲの娘スセリビメと結ばれて地上の主として君臨したオホナムヂ（オホクニヌシ）。しかし、その栄華も高天の原の神がみによって打ち碎かれる。この物語はなにを意味するのか。神話の向こうに微かに見える、古代における日本列島の姿を明らかにせんとする、著者の古事記研究五十年余の総決算！

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「清く貧しく美しく」

石田衣良 著

「たそがれ歌麿」

佐伯泰英 著

「高齢者施設の費用・選び方・手続きのすべて」

岡本弘子 監修

「その症状、がんのサインかもしれない」

佐藤典宏 著

「のりまき」

小西英子 さく

「なんだろうなんだろう」

ヨシタケシンスケ 著

「ギリシア神話」

石井桃子 編訳

5月の休室日

月曜日、祝日、17日、
月末休室(29日)

横田「ミニ」ティセンター図書室

「イマジン？」

有川ひろ 著

「店長がバカすぎて」

早見和真 著

「私の手はなぜ痛いのか、しびれるのか、曲がっているのか」

平瀬雄 著

「お年寄りにもおはなしを！」

山根玲子 著

「こども六法」

山崎聡二郎 著

「セーターができるまで」

畜産技術協会 監修

「サンドイッチいただきます」

岡村志満子 さく

5月の休室日

日曜日、祝日

広報カメラ記録

「黒板アート」

阿井小学校卒業生から令和元年度の卒業生へのプレゼント！

